

有功社シトー貿易・日本HP

「コロナ禍だからこそデジタルインクジェットでビジネスを創ろう」

日本HPと共催でオンラインセミナーをひらく
HPインクジェットプリンター Latex R2000 のデモ運転も

有功社シトー貿易(株) (谷口有三社長、本社=東京・北区)は、「コロナ禍だからこそデジタルインクジェットでビジネスを創ろう」をテーマに、(株)日本HPと共催でオンラインセミナーをひらいた。今回で2回目となるオンラインセミナーは、ジェットグラフ(株)の協力を得て、生産現場との二元中継でおこなわれた。谷口氏はセミナーのなかで、昨今のコロナ禍でのマーケット事情に触れ、「経営環境が激変するなかで、日ごろから自分で考えていたこと、その思いやこだわりをカタチにしていくことで、新しいビジネスモデルを構築できないものか。とくに外出自粛という社会環境のなかでのビジネスには、どのようなものが想定できるか。こうした発想に立つとき、デジタル印刷がいかに有効に機能するかを改めて感じている。これまで段ボールは差別化ができないといわれてきたが、インクジェットで美粧印刷が実現できる。デジタル印刷は会社を、生活を、街を変えることができる」ことを大いにアピールした。このセミナーのあと、ジェットグラフ(株)が導入しているHPインクジェットプリンター Latex R2000 のデモ運転が現地から披露された。有功社シトー貿易(株)代表取締役チーフディレクター谷口有三氏のセミナー骨子を紹介する。



写真1



写真2



写真3

外出自粛ですっかり変わった街の風景

第一回目の緊急事態宣言が発出された4月上旬には、東京の街の風景は一変した。ほとんどが外国人で埋め尽くされていた東京・浅草の仲見世も人の影がなくなった(写真1)。コロナ禍の前の浅草は土日だけではなく、ウィークデイでも欧米人、中国人、アジア人ばかりで返っており、昼食などものの店も行列をつくっていた。しかし4月以降は本当に人が消えてしまった。5月になると、銘菓なども賞味期限が切れそうになるのを懸念して、JR山手線の日暮里駅構内の売り場では、苦肉の策として「値引き商品」を販売せざるをえない状況になった(写真2)。

また地区を超えての移動が制

限されるようになり、当然のことながら、地方にも旅行者が激減した(写真3)。東京五輪・パラリンピック2020を目指してオープンした都内のホテルも、オリンピックが1年延期となったこともあり、宿泊のキャンセルは相次ぎ、空き室の状態が続いている(写真4)。

こうした状況を打破するために、当社としてお手伝いすることができないか。それにはどのような方法がいいかと考えた結果、「デジタル大判印刷」を活用しない手はないということであった。

弊社の技術と経験を活かした「デジタル大判印刷」の展開

なぜデジタル大判印刷か(写真5)。自分の思いやこだわりをデジタル大判印刷技術により、たった一つからカタチに



写真 7



写真 4

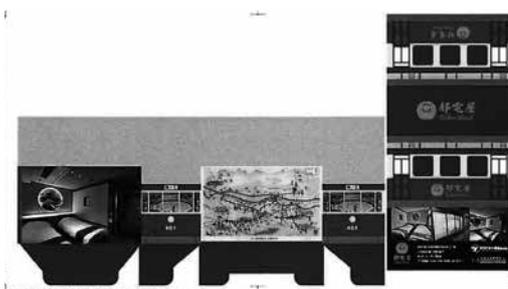


写真 8



写真 5



写真 9



写真 6

きる。このデジタル印刷で作った綺麗なサンプル見本をもっていけば、たとえ飛び込み営業であっても、お客様に具体的な製品の説明ができ、インパクトは大きい。そのサンプル提案により、お客様が何をのぞんでいるかも聞き出すことができる。そのニーズを即、カタチにできるというのがデジタル印刷の大きなメリット。

その例をあげると。2019年8月に東京紙器工業組合主催でおこなわれた「ハコの日」には津軽鉄道(株)とタイアップして、特産品の津軽りんごを入れた農産物輸出対応段ボールトレイを出展した(写真6)。もちろんこれは大判インクジェットプリンター HP Latex R2000 で印刷した。

さきほどの宿泊客の減少しているホテル都電屋(東京・荒川区)に対しては、都電そのものをデザイン化した段ボール箱を提案した(写真7、8)。

さらにデジタル印刷機・加工機の活用により、①顧客のウォンツミート100%でロイヤルカスタマーから応援カスタマーにできる、②商品の幅が広がり、顧客層が広がる、③受注・下請け産業からソリューション

企業へと変化できる、④人材確保と定着化を維持できる、⑤自社製品の充実で、価格競争から脱却でき、価格決定権を確保できる—などのメリットがある。

光沢のある高品質な白色を実現する

HP Latex ホワイトインク

ジェットグラフ(株)草加ファクトリーからは、新型水性超多機能型大判インクジェット HP Latex R2000 のデモ運転を熊本氏がプレゼンテーションした。

HP Latex ホワイトインクは、インクを循環させて沈殿を防ぐことで、常に印刷可能な状態を保つ革新的なシステムを備えている。時間が経っても黄変しない光沢のある高品質な白色を実現する(写真9)。

同機は、最大幅が2・5m、最大厚さは5cmまで対応。最大88m(毎時)の高速品質と連続ローディング。高精度なベルト駆動式システムの採用により、素材取付時の作業時間が短縮、稼働率も最大化する。HP Latex インクが鮮やかな色彩と広色域を実現し、素材の光沢や風合いを損うことなく無臭で印刷できる。